

神奈川県地域医療支援センター運営委員会 次第

日時 令和3年11月10日（水）18時30分から20時30分

場所 神奈川県庁本庁舎 大会議場

1 開 会

2 議 事

(1) 協議事項

ア 地域枠医師制度に係る指定診療科の追加検討について【資料1】

イ 令和6年度以降の医学部定員と地域枠の検討方針について【資料2】

(2) 報告事項

ア キャリア形成プログラムに基づく地域枠医師の配置について【資料3】

イ 令和2年度神奈川県地域医療支援センターの運営状況について【資料4】

(3) その他

3 閉 会

**【資料】**

資料1 : 地域枠医師に係る指定診療科の追加検討について

(参考1) : (厚労省説明会資料) 令和4年度以降の医学部定員と地域枠について  
(抜粋)

(参考2) : (厚労省会議資料) 令和5年度医学部定員と歯学部振替枠の見直しについて

(参考3) : (北海道調査資料) 医師修学資金制度 (地域枠制度) に係る調査 (診療科  
限定の有無) 結果

(参考4) : 本県における医師の状況 (平成30年12月末時点)

(参考5) : 本県における診療科別医師年齢構成 (平成30年12月末時点)

(参考6) : 神奈川県地域医療医師修学資金貸付条例

資料2 : 令和6年度以降の医学部定員と地域枠の検討状況について

(参考1) : (文科省・厚労省通知) 令和5年度の医学部臨時定員の暫定的な取扱いに  
ついて

(参考2) : 医学部地域枠入学に関する同意書 (案)

(参考3) : (文科省通知) 令和3年度大学入学者選抜実施要項について (抜粋)

資料3 : キャリア形成プログラムに基づく地域枠医師の配置について

(参考1) : 修学資金貸与医師の県内医療機関への配置方針

(参考2) : 修学資金貸与医師配置状況

(参考3) : 地域枠医師等A～Dの離脱に係る経緯等【会議後回収資料】

(参考4) : 地域枠医師等の離脱に係る取扱い

資料4 : 令和2年度神奈川県地域医療支援センター運営状況について

(参考1) : 令和3年度神奈川県地域医療支援センター事業の進捗状況について

神奈川県地域医療支援センター運営委員会（令和3年11月10日）出席者名簿

【委員】

（五十音順）

役 職	氏 名	備 考
学校法人北里研究所北里大学医学部 教授	石倉 健司	代理出席 佐藤 武郎 様
全国自治体病院協議会神奈川県支部 支部長 （三浦市立病院総病院長）	小澤 幸弘	
学校法人聖マリアンナ医科大学医学部長	加藤 智啓	
公益社団法人神奈川県病院協会 副会長	窪倉 孝道	
公益社団法人神奈川県医師会 理事	小松 幹一郎	
学校法人東海大学医学部 教授	鈴木 秀和	
公立大学法人横浜市立大学 医学部長	寺内 康夫	代理出席 前川 二郎 様
神奈川県顧問	康井 制洋	
神奈川県立病院機構 副理事長	山下 純正	

【事務局】

役 職	氏 名
神奈川県地域医療支援センター長 （神奈川県健康医療局保健医療部保健医療人材担当課長）	西 海 昇
神奈川県地域医療支援センター事務局長 （神奈川県健康医療局保健医療部医療課課長代理）	中 村 佐知子
同 人材確保グループ 主査	柳 田 雄 一
同 人材確保グループ 主事	長 田 陽 介
同 人材確保グループ 主事	岸 春 奈
同 人材確保グループ 主事	井 上 隆 之

## 地域枠医師制度に係る指定診療科の追加検討について

### 1 経緯

- 県では県内の地域医療を担う医師の育成及び確保に向け、産科、小児科、麻酔科、外科、内科、救急科及び総合診療科の7つの指定診療科に従事する医師を養成するため、県内4大学（北里大学、聖マリアンナ医科大学、東海大学及び横浜市立大学）の医学部の学生を対象とした修学資金貸付制度により毎年20人の医師養成増を図っている。
- 近年、本制度を利用する地域枠医師（地域枠修学生含む）が、指定診療科外への従事することを事由とする離脱の事例が増えており、今後も同様の事例による離脱の発生が見込まれる状況にある。
- 令和2年度地域医療支援センター運営委員会において、令和5年度以降の医学部定員と地域枠の検討方針について協議を行った際、指定診療科（特に脳神経外科）の拡大について検討すべきではないか、との委員からの意見が複数あり、継続協議とした。

#### 【参考】令和2年度第2回地域医療支援センター運営委員会（R3.3.11）

##### <委員意見>

- 指定診療科外への診療科の変更は神奈川県に残る可能性は高い。
- 指定診療科の外科に脳神経外科も含まれると考え、入学後に外れていると気がつく学生もいる。神奈川県が足りないと思うなら指定診療科枠に脳神経外科も入れていいのではないか。
- 神奈川県に脳神経外科医は少なく、世代的に若手世代が大幅に減っていると思われる。指定診療科の中に脳神経外科があってもいいのではないか。このような議論を令和3年度以降に本会で行うべきではないか。

##### <事務局説明>

- 前回の条例改正（令和元年7月）で指定診療科に総合診療科が入り、7診療科となった。その上でさらに脳神経外科などを指定診療科に加えるかについては協議が必要。

### 2 国及び他の都道府県の状況について

- 国は令和2年10月の研修会説明資料において、地域枠離脱に対する要件緩和の条件の一例として「指定された診療科以外の診療科への変更」を示すなど、各都道府県が不足していると判断した診療科への変更を容認している。
- その一方で、国は令和3年8月の医師需給分科会において、歯学部振替枠を廃止し、当該枠を医師不足都道府県等の地域枠とし、総合診療科、救急科、内科など診療科指定の地域枠を設定するとした今後の運用案を示している。
- なお、北海道が令和3年5月に医師修学資金制度（地域枠制度）に係る全国調査（42都道府県回答）を行った結果、地域枠医師に診療科を限定しているのは、当県を含む11都県と少数で、診療科を限定していないのは、31道府県と多数となっている。

- ◎ このような国及び他の都道府県の状況から、当県の指定診療科制度を継続した上で、対象診療科を拡大することに対する障壁はないと考える。

### 3 当県における不足診療科（脳神経外科）の状況について

- 平成30年医師・歯科医師・薬剤師統計（平成30年12月31日現在）に基づく、本県の人口10万人対医師数は212.4人（全国39位）となっており、診療科別で全国順位39位を下回るのは内科（42位）、外科（45位）、産科・産婦人科（44位）、脳神経外科（41位）であった。
- さらに、同統計に基づく、本県の医師平均年齢が48.4才であるのに対し、脳神経外科は49.4才と平均を上回る状況となっている。
- ◎ 本県における医師不足かつ平均年齢を上回る診療科は、現在の指定診療科以外では脳神経外科のみであった。

### 4 検討方針

- 以上を踏まえ、地域枠医師に係る指定診療科（脳神経外科）の追加方針について、当運営委員会で協議を行いたい。
- なお、指定診療科を追加する場合は、次回の医療対策協議会にてあらためて協議を行った上で、条例改正議案として令和4年度神奈川県議会に提出することとしたい。

### 5 今後のスケジュール（予定）

令和3年11月10日：当運営委員会にて地域枠医師に係る指定診療科（脳神経外科）の追加方針を協議

令和3年12月以降：次回開催の医療対策協議会にて当運営委員会の決定方針を協議

令和4年3月～4月：神奈川県地域医療医師修学資金条例改正準備

令和4年5月～6月：神奈川県議会に条例改正議案を提出、議決後改正

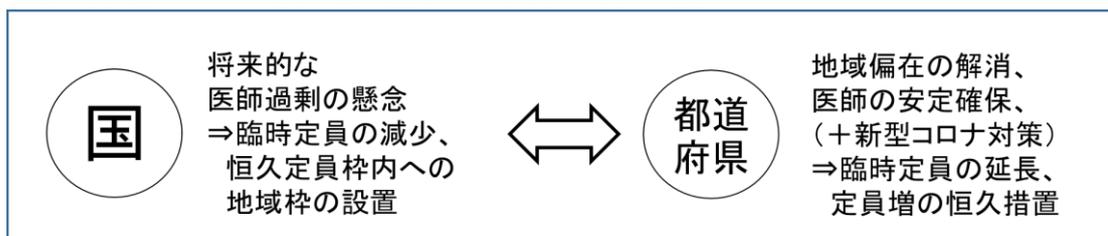
令和4年6月～7月：改正条例施行

## 令和6年度以降の医学部定員と地域枠の検討方針について

## 1 経緯

- 国では、地域枠の設定及びその他の偏在対策により、各都道府県において医師の定着における一定の効果を認める一方で、今後、マクロ需給推計により医師が供給過剰となる観点から将来的な臨時定員の削減及び恒久定員内への地域枠の設定を推進する検討を行っている。
- その一方で、県は、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた将来的な医師不足や医師の働き方改革の推進の観点から、全国知事会要望等を通じて、医学部臨時定員増の期間延長を求めている。
- このような中、すでに令和2年度末時点で令和4年度まで臨時定員を延長する方針が決定していたが、さらに令和5年度まで1年間臨時定員を延長する（歯学部振替枠を除く）国の新たな方針が示され、令和3年10月に関連通知が発出された。
- そのため、当初国が令和5年度から想定していた臨時定員の減、恒久定員枠内への地域枠の設置等は、早くとも令和6年度以降にスケジュールが後倒しとなった。

<参考>現時点における国と都道府県の地域枠に対する想定イメージ



## 2 これまでの県の検討状況

- 令和2年11月に開催した令和2年度第1回地域医療センター運営委員会において、これまでの地域枠の取組、実績等について振り返りの議論を行い、地域医療に一定の効果があるとして、令和5年度（6年度）以降も地域枠医師制度を維持していくことを結論付けた。（定員のあり方（臨時・恒久）については継続議論とした。）

## ○令和2年度第1回地域医療支援センター運営委員会における主な意見

- ・ 地域枠の臨時定員の削減（恒久定員化）は、医師の働き方改革も見据えるべき。
- ・ 恒久定員内に地域枠を設定することについては国への見直し要望を含め、検討すべき。
- ・ 地域枠医師が県内不足地域の医療に貢献できるプログラムの整備が必要ではないか。
- ・ 学生の専門医志向を充足させないと地域に根付いた医療には繋がらないのではないか。
- ・ 専門医、地域医療がどちらも足りていない中で、地域枠医師の県内従事を優先させ、10年目ぐらいの医師のセカンドキャリアとして地域医療への貢献の道を用意したほうがよい。
- ・ 外科などのメジャー診療科はサブスペシャリティありきの専門医制度となっていることを地域枠医師制度にも加味すべき。

- 上記検討を踏まえ、令和3年3月に開催した地域医療支援センター運営委員会において地域枠離脱に関する方針を協議し、国が示した離脱事由例を基に整理を行った。

○令和2年度第2回地域医療支援センター運営委員会における主な意見

- ・ 国が事例に示す「他の都道府県での就労希望」を離脱条件とすることに違和感がある。
- ・ 「体調不良」の定義が曖昧。複数の医師、医療機関による診断を要する形にすべき。
- ・ 離脱ありきではなく、義務を履行してもらうことを優先すべき。

- なお、地域枠離脱に関する方針については、令和3年9月に開催した医療対策協議会で協議を行った医学部地域枠志願（入学）に関する同意書に内容を反映している。

### 3 国の動き

- 現時点で令和6年度以降の地域枠に関する国からの明確な情報（必要検討事項、スケジュール等）は示されておらず、昨年度時点で国から予告されていた都道府県、大学あてアンケート（地域枠の定員設定等）は引き続き未実施となっている。
- 令和5年度までの臨時定員の延長とあわせて歯学部振替枠（44名）を廃止し、当該枠を医師不足都道府県等の地域枠とし、総合診療科、救急科、内科など診療科指定の地域枠を設定するとした今後の方針（資料1参考2参照）が示されたが、具体の運用方法については都道府県に示されていない。
- 令和3年8月に国が開催した医療政策研修会において、千葉県における医師確保の取組みを好事例とする「キャリアコーディネータ」の事例発表が行われ、今後、全都道府県に対し、当職の設置が求められる可能性がある。

### 4 本日の検討について

- ◎ 国から令和6年度以降の地域枠に関する明確な情報が示されない中で、本日の運営委員会では、本県における①歯学部振替枠廃止に伴う代替地域枠に対する増員方針について、②キャリアコーディネータの設置について、検討資料（別紙）を基に先行協議を行うこととしたい。

## 論点

歯学部振替枠(44名)を廃止し、当該枠を医師不足都道府県等の地域枠とし、総合診療科、救急科、内科など診療科指定の地域枠を設定する国の方針が示されているが、代替地域枠の増員申請が認められるのであれば、県として地域枠の増員を要求する方針としてよいか。

- ※1 医師偏在指標等による傾斜配分が導入され、当県の増員は1~2名となる(又は増員が一切認められない)ことが想定される。
- ※2 診療科指定の地域枠を設定する都道府県は少数(資料1 参考3参照)であり、基本的に増員要求に伴う庁内調整等は不要となるため、診療科指定の地域枠を設定していない他県よりは受入が若干有利となる。

## 今後の課題

<代替地域枠による増員を是とする場合>

今後の増員要求に伴い、本県への代替地域枠の増員が決定した場合、各大学への配分はどのようにするか。

<考え方>

- ①今後、臨時定員枠の見直しが検討される中で、このような代替地域枠による増員を大学として希望するか組織的判断が必要。
- ②仮に県内4大学が代替地域枠による増員を希望する場合、県内4大学1名ずつ増員という要求が認められる可能性は低いことが想定されるため、増員枠について妥当な指標(例:過去3か年受入実績、地域枠県内定着率(離脱発生割合))を用いて配分を決定するか、別に協議、判断が必要になる。

## キャリアコーディネータの設置について

## 論点1

当県におけるキャリアコーディネータを設置に伴うメリット、デメリットの整理について

<メリット>

- ・地域枠医師のキャリア支援、地域医療への促進及び離脱防止
- ・各大学・病院(診療科教授・医局長)との地域枠医師受入れに対する連携・連絡体制の強化
- ・医学部での卒前教育への働きかけ促進 など

<デメリット>

- ・大前提として地域枠医師(修学生)に15年寄り添えるキャリアコーディネータ(医師職・複数名)の確保が必要
- ・キャリアコーディネータの独立性が担保されないと各大学・病院の希望に沿った地域枠医師の配置が生まれ、かえって地域医療への阻害要因に繋がる など

## 論点2

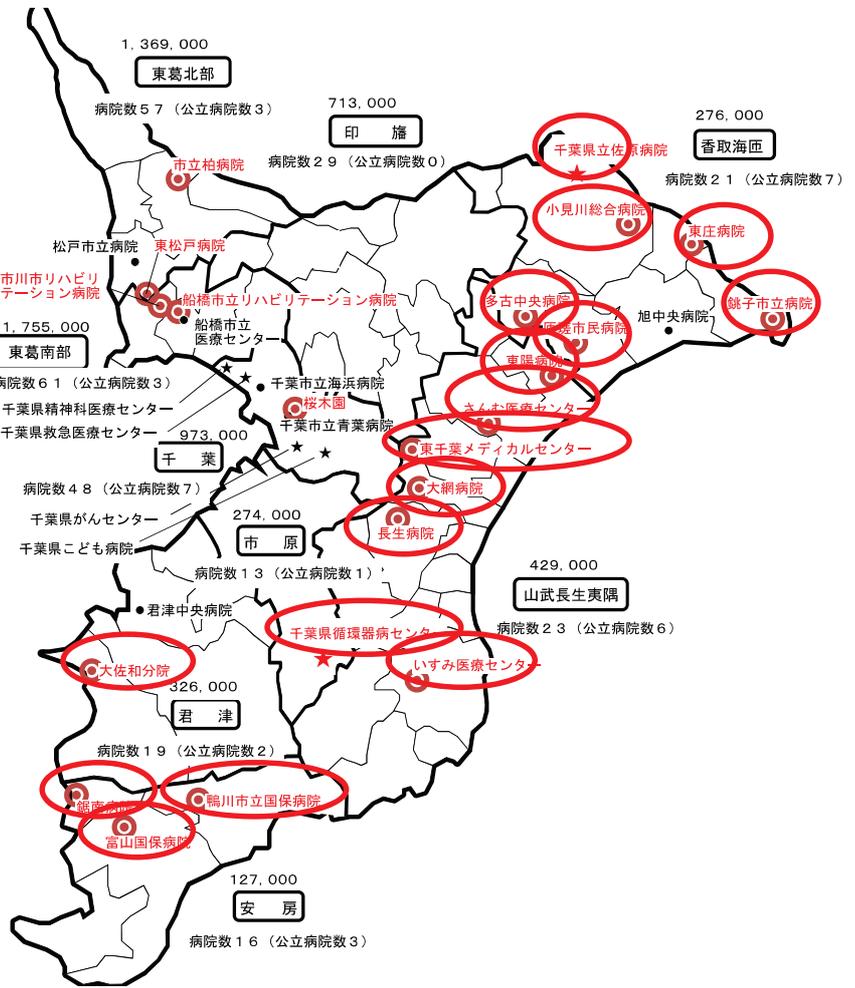
以上のメリット、デメリットを踏まえた上で、当県におけるキャリアコーディネータ設置の方向性をどう考えるか。



## 地域A群（17病院）規模

300床以上	さんむ医療センター 銚子市立病院 東千葉メディカルセンター
200床以上	県立佐原病院 千葉県循環器病センター
100床以上	国保多古中央病院 小見川総合病院 匝瑳市民病院 東陽病院 公立長生病院 いすみ医療センター
99床以下	東庄病院 国保大網病院 鋸南病院 富山国保病院 鴨川市立国保病院 君津中央病院大佐和分院

許可病床数：平成29年4月1日時点



<p>地域A群 (48)</p>	<p>①医師少数区域における病院、有床診療所及び専門研修プログラムの研修施設の無床診療所 ●病院</p> <p>②医師の確保を特に図るべき区域等において優先的な配置が必要な病院</p>	<p>①医師少数区域における病院、有床診療所及び専門研修プログラムの研修施設の無床診療所（37）</p> <p>●病院 浅井病院（東金市）、東千葉メディカルセンター（東金市）、さんむ医療センター（山武市）、大網白里市立国保大網病院（大網白里市）、季美の森リハビリテーション病院（大網白里市）、九十九里病院（九十九里町）、東陽病院（横芝光町）、高根病院（芝山町）、君塚病院（茂原市）、公立長生病院（茂原市）、宍倉病院（茂原市）、菅原病院（茂原市）、鈴木神経科病院（茂原市）、茂原神経科病院（茂原市）、茂原中央病院（茂原市）、山之内病院（茂原市）、塩田記念病院（長柄町）、聖光会病院（長柄町）、塩田病院（勝浦市）、いすみ医療センター（いすみ市）、岬病院（いすみ市）、大多喜病院（大多喜町）、川崎病院（大多喜町）</p> <p>●有床診療所 とうがね中央糖尿病腎クリニック（東金市）、東葉クリニック大網脳神経外科（大網白里市）、みんなのライフサポートクリニック大網（大網白里市）、育生医院（茂原市）、上茂原診療所（茂原市）、作永産婦人科（茂原市）、永吉の眼科（茂原市）、勝浦整形外科クリニック（勝浦市）、もりかわ医院（いすみ市）、吉田外科内科（いすみ市）、小高外科内科（大多喜町）、千代田建康開発事業団付属診療所（御宿町）</p> <p>●専門研修プログラムの研修施設の無床診療所 岡崎医院（東金市） 外房こどもクリニック（いすみ市）</p> <p>②医師の確保を特に図るべき区域等において優先的な配置が必要な病院（11）</p> <p>香取おみかわ医療センター（香取市） 千葉県立佐原病院（香取市） 国保多古中央病院（多古町） 東庄町国民健康保険 東庄病院（東庄町） 銚子市立病院（銚子市） 国保匝瑳市民病院（匝瑳市） 鴨川市立国保病院（鴨川市） 南房総市立富山国保病院（南房総市） 鋸南町国民健康保険 鋸南病院（鋸南町） 国保直営君津中央病院大佐和分院（富津市） 千葉県循環器病センター（市原市）</p>
----------------------	--	---

**地域A群病院  
48病院にふえ  
た！**

## キャリア形成プログラムに基づく地域枠医師の配置について

## 1 趣旨・背景

- 平成29年2月14日付け国通知「地域医療介護総合確保基金を活用した医師修学資金貸与事業の取扱いについて」により、原則として産科等医師修学資金貸与医師、地域医療医師修学資金貸与医師及び横浜市立大学地域医療枠医師（以下、「地域枠医師」）に個人別のキャリア形成プログラムを策定し、適用している。

## ＜キャリア形成プログラム＞

地域における医師不足や地域偏在の解消と、専門医の取得といった医師能力の開発・向上を目的として、診療科別に義務年限中の就業先となる医療機関等を選択肢として、都道府県が主体として策定した医師就業に係るプログラム

## 2 検討事項

- 地域枠医師に対し、策定したキャリア形成プログラムを適用することとなったため、配置に向けての基本的枠組みを令和元年度に整理し、配置状況を報告している。

## 3 配置の基本的枠組み

## ＜キャリア形成プログラム加入医師＞

義務年限		
1～2年目	3～5年目	6～9※年目
<p><b>初期臨床研修</b></p> <p>県内の初期臨床研修病院</p> <p>※平成30年度以前の入学者はキャリア形成プログラムへの参加を前提として県外研修可</p>	<p><b>専門研修</b></p> <p>県内の基幹施設</p> <p>※期間はプログラムで研修に必要としている期間</p>	<p><b>地域医療実践</b></p> <p>キャリア形成プログラムに搭載されている「地域実践」医療機関</p> <p>※対象医療機関は毎年調査の上、選定（勤務地域は今後検討）</p>

※キャリア形成プログラムを選択しない場合は従前の枠組みによる

## ＜具体的な配置方法イメージ＞

## ア 卒後1～2年目（臨床研修）

- ・地域枠医師は県内臨床研修病院の中から希望する医療機関を選択

## イ 卒後3～5年目（専門研修）

- ・県内の専門研修基幹施設のプログラムを履修し、県内医療機関に配置
- ・医師の希望により専門研修は履修せず、「地域実践」医療機関からの選択も可能

## ウ 卒後6～9年目（地域実践期間）

- ・派遣先医療機関の受入希望状況を把握し、派遣予定医師に情報提供
- ・地域枠医師は派遣先医療機関リストから従事したい医療機関を選択
- ・各地域枠医師は希望する理由を明らかにして、派遣希望配置先（優先順位をつけて複数）を県に回答
- ・県では、地域枠医師の理由を踏まえ、希望を尊重し、医療対策協議会において派遣先の承認手続きを行う

### (3) その他

- 専門医取得研修の取扱いや継続従事期間の算定方法等については、従前と同様に、「修学資金貸与医師の県内医療機関への配置方針」[資料3参考1](#)に基づき、配置する。

## 4 配置までのスケジュール

令和3年11月10日	地域医療支援センター運営委員会 開催 <a href="#">本日</a> (内容) 修学資金貸与者の配置方針の報告
令和3年12月 ～4年1月	各医師の令和4年度勤務に関する意向確認 配置先医療機関と配置に関する調整
令和4年2月～3月	医療対策協議会 開催 (内容) 令和4年度配置(案)の協議
令和4年3月	修学資金貸与者の指定医療機関決定 配置先医療機関と協定を締結
令和4年4月1日	修学資金貸与者が指定医療機関で勤務開始

## 令和 2 年度神奈川県地域医療支援センター運営状況について

## 1 現状

県では、地域において必要とされる医療を確保するため、医療法に基づき、「神奈川県地域医療支援センター」を平成 27 年 10 月 30 日に県庁内に設置し、医師のキャリア形成支援と一体的に医師不足病院の医師確保を行い、医師の地域偏在の解消に向けた取組を進めている。

## 2 取組内容（令和 2 年度）

## (1) 運営委員会の開催（2 回）

## ア 第 1 回運営委員会

(ア) 開催日 令和 2 年 11 月 19 日（木）

## (イ) 主な内容

- ・令和 5 年度以降の医学部定員と地域枠の検討方針について
- ・キャリア形成プログラムに基づく地域枠医師の配置の方向性について

## イ 第 2 回運営委員会

(ア) 開催日 令和 3 年 3 月 11 日（木）

## (イ) 主な内容

- ・令和 5 年度以降の医学部定員と地域枠の検討方針について
- ・修学資金貸与者に係る臨床研修終了後の配置調整（案）について
- ・「神奈川県地域医療枠／市大地域医療枠」医師の勤務先について

## (2) 自治医科大学夏期研修報告会（大学 2 年生）

※ 新型コロナウイルス感染症の影響のため未実施

（令和元年度：令和元年 8 月 23 日（金）実施）

## (3) 地域枠の医学生に対するガイダンス（大学 1 年生）

地域枠学生に対して、早い段階から地域医療に関する理解を深める一助とするために、主に 1 年次生を対象に次の内容について約 1 時間程度のガイダンスを各大学で実施する。

※ 県内 4 大学ともに新型コロナウイルス感染症の影響のため未実施

## (4) 神奈川の地域医療を語る会（大学 1 年、4 年生中心）

本県における地域枠の学生に、地域医療に関する意識啓発を行い、将来地域医療を担う医師となるための動機付けを強化する。

※ 新型コロナウイルス感染症の影響のため未実施

（令和元年度：令和 2 年 2 月 1 日（土））

## (5) 臨床研修医交流会（臨床研修医）

後期研修医として県内へ定着することを促進するため、臨床研修医が後期研修先を決める前までに、臨床研修医間での連携を図り、県内への定着を誘導する交流会を開催する。

※ 新型コロナウイルス感染症の影響のため未実施

（令和元年度：令和元年 11 月 15 日（金））

## (6) 臨床研修病院合同説明会（大学4、5年生）

全国の医学生を対象に、臨床研修医を確保したい県内臨床研修病院が参加する臨床研修病院合同説明会（以下「合同説明会」という。）を開催することで、臨床研修修了後の臨床研修医の確保及び県内への定着を図る。

### <合同説明会実績>

- ア 名称 臨床研修病院合同説明会  
イ 主催 公益社団法人神奈川県医師会（共催：神奈川県）  
ウ 内容
- (7) 開催日 令和3年2月20日（土）、令和3年2月21日（日）  
令和3年2月23日（火・祝） 10時00分～18時15分
- (イ) 開催方法 Zoomミーティングを利用したオンライン開催
- (ウ) 参加病院 説明会出展病院 32病院  
病院ガイドへの掲載のみ 20病院
- (エ) 参加学生 令和3年2月20日（土）196名  
令和3年2月21日（日）202名  
令和3年2月23日（火・祝）191名

## (7) 医師募集情報コーナー

医師の採用を募集する県内医療機関や就職を希望する医師を支援するため、地域医療支援センターのホームページ上に「医師募集情報」のコーナーを作成し、就業を希望する医師等への情報提供として広く紹介する。

### <医師募集情報コーナー掲載>

- ア 掲載開始 平成29年3月（毎年度洗替え）  
イ 掲載媒体 地域医療支援センターのコンテンツとして「医師募集情報コーナー」を設置  
ウ 掲載数 24医療機関（令和3年8月末現在）

## (8) 県内医学部学生の「病院見学」マッチング事業（大学3年生）

将来の神奈川県を担う人材の発掘・育成に資するため、見学希望のある医学部学生（主に横浜市立大学、聖マリアンナ医科大学、北里大学、東海大学の地域枠学生）病院見学を支援することにより、県内地域医療に熱心に取り組む医師養成を行う。

※ **新型コロナウイルス感染症の影響のため未実施**

→令和2年度未実施分については、令和3年6月に実施